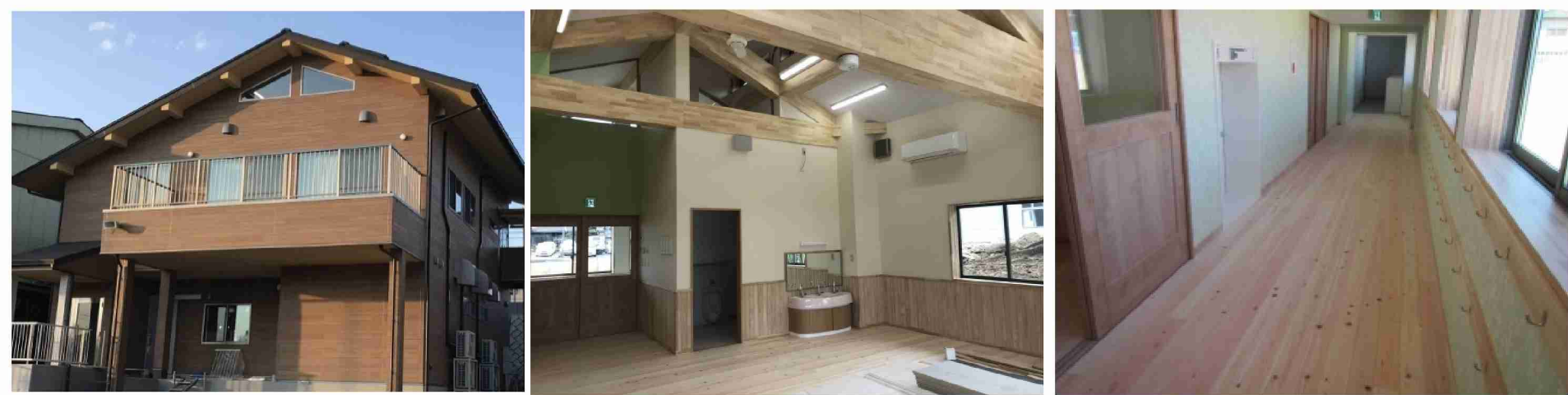


もみじ第二こども園

火に耐えて木にふれる

～耐火建築の制約がある中で、木造トラスを魅せる工夫～



■ 建築概要

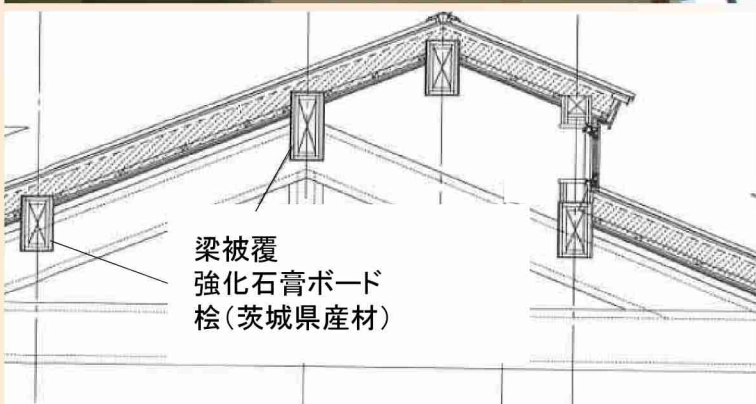
所在地 茨城県土浦市若松町
構造・階数 木造2階
事業費 84,000,000円
工期 令和元年11月～令和2年3月
施工者 (株)クラフト

施設用途 幼保連携型認定こども園
延床面積 257㎡
木工事費 12,800,370円
設計者 (株)インフィニート一級建築士事務所
木材供給者 (有)野上製材所, 二宮木材(株), (有)銚田製材所
(株)茨城木材相互市場, (株)林産

■ 設置者から一言

子どものたちが利用することを踏まえ、あたたかく明るい雰囲気の中で安心・安全な環境づくりのため、床と腰壁をヒノキの無垢材、腰壁の上をしっくいとして、極力ケミカルなものを使わない、かつ、木材を肌で感じられるようなつくりにした。

■ 使用した木材や工夫した点



当該施設は耐火建築物とする必要があり、木造梁トラスのままでは不可となる。木造梁トラスは施設のデザイン及び木材を感じられる空間作りの重要ポイントであるため、生かしつつ耐火基準をクリアするための工夫が必要である。そのため、梁トラスを構成する部材を各々耐火ボードで被覆した上にヒノキの無垢材を貼り付けることで耐火基準をクリアし、かつ、木材を感じる空間を作ることができた。

樹種	県産材 使用量	使用部	備考
スギ	41.852㎡	柱, 梁等	
ヒノキ	6.172㎡	土台, 大引, 腰板, フローリング	
計	48.024㎡		